

# CGR 2010 の ESM のファクトリ リセット

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[工場出荷時状態へのリセット](#)

[破損したソフトウェア イメージの ESM を回復して下さい](#)

[パスワードの回復](#)

## 概要

この資料にイーサネット スイッチ モジュール ( ESM ) on Cisco 行う方法を接続されたグリッドルータ 2010 ( 2010 ) CGR のファクトリ リセットがパスワードの回復を記述されています。このプロセスも破損したソフトウェア イメージの ESM モジュールを回復するのに使用することができます。

Sumedha Phatak および Duy Nguyen によって貢献される、Cisco TAC エンジニア。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco2000 のための ESM
- CGR 2010

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 問題

ESM モジュールのファクトリ リセット、パスワードの回復を行うかまたは ESM モジュールを CGR 2010 の破損したソフトウェア イメージと回復するため。

注: このプロシージャがはたらくことができるようにコンソールによる CGR 2010 へのダイレクト接続が必要となります。

## 解決策

ステップ 1. コンソールによって CGR 2010 に直接接続して下さい。

ステップ 2. ESM をリロードするためにコマンド **service-module gix/x/x リロード** を発行して下さい:

```
service-module gi0/0/0 reload
```

ステップ 3 ESM モジュールが起動しているように、ESM モジュールの高速 セットアップ (ES) ボタンをブートシーケンスを壊すために押すのにピンを使用して下さい。

ステップ 4. **service-module gix/x/x セッション** の発行によって ESM を入力して下さい。

ステップ 5 スイッチで: フラッシュするをプロンプト表示して下さい、初期化して下さい: **flash\_init** の発行によって ステップ 5. の後で、適切なセクションに続いて下さい。

## 工場出荷時の状態へのリセット

ステップ 6. **config.text** および **vlan.datfile** を削除して下さい。

```
switch: delete flash:config.text
```

```
switch: delete flash:vlan.dat
```

ステップ 7. システムイメージをロードし、コマンド **ブート フラッシュする** を発行して下さい: **<image-name>**。

## 破損したソフトウェア イメージの ESM を回復して下さい

ステップ 8 新しいイメージは x-modem との ESM にコピーすることができます。ESM スイッチから: 行を消去する数回をプロンプト表示して下さい、『Enter』を押して下さい。

ステップ 9. **コントロール + シフト + 6 + CGR 2010** に再び行く **X** 押して下さい。正常に転送するために xmodem のための ESM セッションを解決して下さい。

```
service-module gigabitEthernet 0/0/0 session clear
```

ステップ 10 CGR で、**copy** コマンド **コピー フラッシュ** を使用して下さい: **CGR2010> xmodem** から **<file: 新しい ESM イメージを xmodem にコピーするため**。

```
cgr2010-ast03-lab#copy flash:test1 xmodem:test2
```

```
**** WARNING ****
```

```
x/y modem is a slow transfer protocol limited to the current speed
settings of the auxiliary/console ports. The use of the auxiliary
port for this download is strongly recommended.
```

```
During the course of the download no exec input/output will be
available.
```

```
---- ***** ----
```

```
Proceed? [confirm]
```

```
Destination filename [test2]?
```

```
Service Module slot number? [1]: 0
```

```
Service Module interface number? [0]:
```





[rename flash: config.old flash: config.text](#)と入力して、コンフィギュレーション ファイルを元の名前に変更します。

```
Switch#rename flash:config.old flash:config.text
```

ステップ 19。コンフィギュレーション ファイルをメモリへコピーします。

```
Switch#copy flash:config.text running-config
```

ステップ 20。現在のパスワードを上書きして下さい。

ステップ 21。startup-config に新しいパスワードで現在の構成をコピーして下さい。

```
switch_austin#copy running-config startup-config
```

```
Destination filename [startup-config]?
```

```
Building configuration...
```

```
[OK]
```